

令和 2 年度 (2020 年度)	会計管理者の取り組み実績
<部長の方針・考え方> 法令等に基づく、適正かつ円滑な会計業務の執行	

具体的な取り組み：適正かつ円滑な会計業務の執行

緊急性の高い新型コロナウイルス感染症対策に係る経費やその他の経費を円滑に支出するため、いかなる状況下においても、社会・経済活動を阻害することのないよう、業務の遂行に努めます。また、円滑な会計事務にあたり、より効率的・効果的な収入・支払事務の執行方法について検証・検討を行います。

実 績	①適正かつ円滑な会計手続きを実施。 <一般会計・特別会計 収入実績 1,648,435 件 275,860,442,177 円、支出実績 107,732 件 270,599,161,235 円>
説 明	①新型コロナウイルス感染症対策に係る経費など緊急性の高い支出に限らず、社会・経済活動を阻害することのないよう、適正かつ円滑に会計事務を遂行したことで令和 2 年度の決算調製に繋がりました。

具体的な取り組み：財務会計システムの構築

令和 4 年 10 月稼働予定の内部情報系システムの共同化に向けて、財務会計システムの構築を図ります。また、内部情報系システムの稼働時に電子決裁の導入を目指すことから、より効率的・効果的な会計事務の運用の見直しを進めます。

実 績	①効率的・効果的な会計事務の運用の見直し。
説 明	①財務会計システムの構築を図る準備として、現在の会計事務における運用の見直しを図る必要があることから、会計実務研修のあり方を見直し、ポイントを絞り視覚的に伝わりやすいマニュアルを作成し、周知に努めました。また、会計手続きにおいて請求書等に必要としていた記名押印を、署名（一部除く）へ変更し、申請者等の利便性の向上に繋がりました。